

自由民主党山村振興特別委員会開催される

自由民主党山村振興特別委員会（委員長：金子恭之 衆議院議員）が、令和2年2月19日（水）午前8時から自民党本部号701号室において、「令和2年度山村振興関係予算概算決定等について」を議事として開催された。

全国山村振興連盟からは竹崎一成 会長代行、上遠野 修 副会長、梶谷恵造 副会長、水本 実 副会長、前後 公 副会長の5人の町村長及び實重重実 常務理事が出席した。

鈴木憲和 事務局長の司会により議事が進められ、最初に金子恭之 委員長の挨拶、中谷 元 全国山村振興連盟会長の挨拶があった後、議事に入った

議事 令和2年度 山村振興関係予算概算決定等について

○ 関係省庁からの説明。

「令和2年度 山村振興関係予算概算決定等について」の資料に基づき説明があった。

○ 全国山村振興連盟からの要請等

会長代行及び副会長から次のような要請(要旨)を行った。

○ 竹崎会長代行（熊本県芦北町長）

先生方におかれては、日頃より山村振興にご支援を賜り、感謝申し上げます。全国山村振興連盟に参加する646の市町村長を代表して、一言、お礼と要望を申し上げます。

まず、昨年、一昨年と連続して台風・豪雨による被害が全国で頻発した。昨年には当連盟会員である宮城県丸森町も大きな被害を受けて、全国的に報道されたところである。そうした中、政府では、予備費、補正予算、そして令和2年度予算という形で被災地の復旧復興に尽力をいただきお礼申し上げます。

昨年は、電柱・電線への倒木により千葉県で長期間にわたる停電が発生したが、山村・森林の適切な管理の重要性が改めて認識されたものとする。山村地域が、国土保全・災害防止といった本来の公益的機能を果たし、また地域社会が安心して暮らせるものとして存続していけるよう、引き続き防災減災・国土強靱化の取り組みを強化いただくようお願いする。

次に昨年は、私たちの長年の悲願であった森林環境税・森林環境譲与税が導入された画期的な年となった。加えて令和2年度予算においては、森林環境譲与税の額が従来予定されていた額の2倍に一気に増額されることが決定され、また満額になる時期も令和15年度から令和6年度に前倒しされることとなった。

昨年度は金額が小さくて十分に対策を講じにくいという山村の市町村もあったが、2年度はその2倍の予算で取り組むことができるようになった。

更に昨年暮れには、人口急減に対処するための「特定地域づくり事業の推進に関する法律」を議員立法により策定し、令和2年度予算も獲得される。当連盟会長である中谷先生が中心的な役割を担っていただいていると承知している。山村の市町村にとっては、人口減少を何とか食い止めたいというのが最大の課題であるので、山村に就業機会を作る大きな希望の灯となるものと考えている。なお、昨年には棚田地域振興法も議員立法により成立いただいたところである。

これら各種の施策が盛り込まれた令和2年度予算案を早期かつ確実に成立させ、地域において的確に運用されるようご指導いただくことをお願い申し上げます。

併せて、現在、農水省を中心に議論されている食料・農業・農村基本計画において、農山村の振興が適切に位置づけられるようお願いする。

種々の貴重な成果に対して重ねてお礼申し上げ、私の発言とする。

○ 上遠野副会長（茨城県城里町長）

正確なデータではないが、山村で細々と自分で食べる分プラスαぐらいの農業をやっ
て直売所に出して生活しているような人がぴんぴんころりと亡くなっているケースが多
く、一方でサラリーマンのベッドタウンエリアに行くと、亡くなる前の最後に非常に多
くの医療費が掛かったという話をよく聞いている。

是非、国としてもそういった小規模で食べる分プラスαぐらいの農業に光を当てる一
つの根拠として、それが医療・介護の抑制にどのような貢献があるかについて、研究を
していただきたい。それが客観的に証明されれば国民的な運動として山村回帰として見
直されるのではないかと期待しているところである。

また、イノシシの皮でソファを作ってみたところ、上質で風合いも良く好評だった。
地元では年間1000頭を捕獲しているが、皮はサイフや名刺入れだけではさばききれない。
高級車でイノシシのレザーシートが使われるようになることが夢だ。

○ 梶谷副会長

現在、北海道の山村振興連盟の会員は79市町村あり、そのうちの49市町村では漁港や
港湾を有している。漁港は北海道が運営しているが、港湾については北海道では市町村
が管理者となっており、脆弱な予算の規模の市町村には非常に大きな負担となっている。
さらに前政権下による事業仕分けにより、当時、平成21年度から22年度にかけて総額で
約3,733億円あったものが1,334億円に減額されたところであり、それ以降、貴重な財源
を使いながら辛抱している。さらに不足する予算の中で重要港湾を優先して整備してい
くことにしている状況であり、小規模港湾の改修が未だに進捗しておらず先が見えない
状況となっている。

港湾は切り出した木材を始め、バイオマス燃料の搬出、木関連製品や輸出基地として、
また、平成30年度に発生した胆振東部地震において鉄道網が破損し野菜等を港湾から東
京方面に出荷した例もあり、山村振興にも欠かすことが出来ない要素の一つとなってい
る。担当省庁においては港湾予算の底上げについても是非お願いしたい。

○ 前後副会長

過疎化によって猪苗代町は約1.4万人減少しており、人口減少は深刻だ。小中学校の
統廃合を行う中で、国産材を活用するようにしている。林産物の利用促進を県に要請し
ている。6次化を含めて森林資源を育成したい。森林空間を利用して健康づくりに取り
組むよう努力している。安定財源が乏しいので、財源確保をお願いしたい。

○ 水本副会長

「間伐等特別措置法」に基づく支援措置の一つである「美しい森林づくり基盤整備交付
金」が令和2年度をもって終了と聞いている。各市町村からも延長の要望が上がってい
ると思うが、東吉野村としてもこの制度を活用して整備を進めているところであり何と
か延長をお願いする。森林環境譲与税が出来たからこの制度を無くすというのは困るの
で、この制度も引き続き活用して、併せて森林環境譲与税も活用したいと考えているの
でよろしくをお願いしたい。

3. 質疑・意見交換

次のような事項について、質疑・意見交換が行われた。

- ・サルの指定管理鳥獣への指定
- ・豚熱とイノシシのジビエ利用
- ・山村活性化支援交付金の状況

- ・緊急浚渫推進事業、合併浄化槽事業の普及・啓発
- ・人口急減地域特定事業推進に関する法律のフォロー
- ・森林環境譲与税の使い方
- ・棚田地域の指定
- ・現場を支える技能人材の確保
- ・インフラ周辺の森林整備
- ・山村における自閉症や不登校とか引きこもりなどの子供への支援

なお、令和2年度山村振興関係概算決定額については、2月15日号の山村振興情報に掲載していますが、当日配布された資料のうち参考資料の一部を本号に掲載します。

掲載する資料は次のとおりです。

- 令和2年度 山村振興関係予算概要決定額の概要(農林水産省)
- 山村活性化支援交付金
- 中山間地農業ルネッサンス事業(一部公共)
- 中山間地域等直接支払交付金
- 鳥獣被害防止対策とジビエ利活用の推進
- 林業成長産業化総合対策
- 携帯電話等エリア整備事業の概要
- 高度無線環境整備推進事業
- 放送ネットワーク整備支援事業
- ケーブルテレビ事業者の光ケーブル化に関する緊急対策事業 等
- 公衆無線 LAN 環境整備支援事業
- 地域 IoT 実装・共同利用総合支援
- 地域おこし協力隊の推進に要する経費
- 国土交通省における山村振興関係予算
- 道路ネットワーク整備による整備効果
- 中山間地域における道の駅等を拠点とした自動運転サービス実証実験について
- 道の駅等を拠点とした自動運転サービスの実証実験の実施箇所
- 砂防関係事業
- 治水関係事業
- 海岸事業における津波・高潮・浸食対策
- 特定地区公園事業
- 下水道事業
- 地域優良賃貸住宅制度の概要
- 地域公共交通確保維持改善事業の概要
- 「小さな拠点」の形成推進
- 社会資本整備交付金と防災・安全交付金
- 文部科学省 令和2年度予算案 山村振興関係①、②
- 文化庁 令和2年度予算案 山村振興関係
- 令和2年度山村振興関係予算案(厚生労働省)
- 小規模事業対策推進事業(中小企業庁)
- JAPAN ブランド育成支援事業(中小企業庁)
- 地域で自立したバイオマスエネルギーの活用モデルを確立するための実証事業
- 令和2年度山村振興関係予算主要事業一覧(環境省) (資源エネルギー庁)
- 令和2年度山村振興関係予算に係る予算案(内閣府)